

## ●コラム 1－ぬくもりトーク（南長津田団地「カフェみなみ」） 「カフェからはじまる地域のつながり～ここに来れば、誰かに会える～」

南長津田団地のカフェみなみ運営委員会は、住民の高齢化が進んでいる当団地において、多世代交流を促進し、誰もが安全・安心に暮らせる団地を目指して活動しています。

当団地は、築45年以上が経過し、建物の老朽化と住民の高齢化が懸念される中で、地域の自助・共助の取組を活性化させるために平成28年度に地域福祉支援拠点が整備され、この活動が始まりました。

「ここに来れば誰かに会える」をテーマとして、カフェの運営のほか、多世代が交流できる様々な活動に取り組んでいます。平成30年6月からは、日頃のちょっとした困りごとを電話やFAXで相談してもらい、ボランティアがお手伝いをする「お助けマン」のような活動も始めました。

「カフェみなみ」に集まることで、孤立感がなくなったり、住民同士の困りごとなども共有することで、様々な課題の解決にもつながっています。

長津田地区は、高齢化が進んでいる地域や子育て世代が多い地域など環境は様々ですが、こういった多世代交流の場づくりを進め、地域の一層の活性化につなげていきます。

「カフェみなみ」は、木のぬくもりが感じられ、天井が高く開放的な空間になっています。土曜日以外、毎日15時までオープンしています。是非一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。



## ●コラム 2－横浜市保健活動推進員制度発足70周年 ～地域に根付く健康づくりを！！～

保健活動推進員は、自治会の推薦を受けて市長から委嘱され、地域の健康づくりの推進役として様々な健康づくりの活動を担っています。昭和23年に保健活動推進員の起源である「横浜市衛生奉仕員」制度が発足し、その後「保健指導員」に名称を改め、戦後の地域の公衆衛生の向上において重要な役割を担ってきました。さらに、平成13年には、名称を「保健活動推進員」に改め、時代の変化に対応し、市民の生涯にわたる健康づくりと福祉保健課題の解決に向けた活動を充実させてきました。そして、平成30年度には発足から70周年を迎えました。

緑区では、平成30年12月現在、216名の保健活動推進員が活躍しています。身近な地域における健康チェックの実施、特定健診・がん検診の啓発等、様々な活動を通して区民の方々が自分の健康に関心を持ち、生活習慣を見直すきっかけとなるよう取り組んでいます。その長年の功績が認められ、平成31年2月に開催された緑区社会福祉大会では、区の社会福祉活動に貢献した団体として表彰されました。

このように、保健活動推進員は、長年にわたって地域の健康づくりの推進役として活躍してきました。平成31年度には区制50周年を迎えますが、区民皆様のますますの健康づくりのため、これからもさらに地域に根差した健康づくりの取組を進めていきます。

